

科目名	中国語2（演習）		科目ナンバー	LA-IP2122		
担当者 (実務経験名)	非常勤講師 海村佳惟					
履修期	1年 後期			卒業単位	選択必修 1単位	
免許・資格						
授業概要	前期は、中国語の発音、ピンイン及び基本的な文法知識について学習しました。後期においては、①より流暢な発音、②平易な中国語文の聞き取り、③既習語彙と基本的な文法を利用して簡単な作文、④場面・状況に応じて基礎的な会話ができることを目標とします。					
到達目標	知識・理解	常用語彙を習得し、基礎的な文法を理解することができる				
	思考・判断	平易な中国語文の聞き取り、既習した語彙と文法を利用して作文することができる				
	興味・意欲・態度	身近なことについて中国語で話すことができる				
	技能・表現	場面に応じて簡単な会話ができる				
授業計画	授業内容			事前事後学習内容		時間 (時間 / 週)
	1	ガイダンス・前期の復習		前期に既習した文型を復習する。		1
	2	第6課(1) 趣味や好み、できることについて話す		単語を予習し、音声聞きながら発音の練習をする。		1
	3	第6課(2) トレーニング・リスニング		文法を復習し、音声聞きながら会話の読む練習を行う。		1
	4	第7課(1) 住んでいる場所や家族について話す		単語を予習し、音声聞きながら発音練習をする。		1
	5	第7課(2) トレーニング・リスニング		文法を復習し、音声聞きながら会話の読む練習を行う。		1
	6	第8課(1) 場所や存在について話す		単語を予習し、音声聞きながら発音練習をする。		1
	7	第8課(2) トレーニング・リスニング		文法を復習し、音声聞きながら会話の読む練習を行う。		1
	8	第9課(1) 交通手段や希望について話す		単語を予習し、音声聞きながら発音練習をする。		1
	9	第9課(2) トレーニング・リスニング		文法を復習し、音声聞きながら会話の読む練習を行う。		1
	10	第10課(1) 動作の発生や進行について話す		単語を予習し、音声聞きながら発音練習を行う。		1
	11	第10課(2) トレーニング・リスニング		文法を復習し、音声聞きながら会話の読む練習を行う。		1
	12	第11課(1) 過去の出来事や値段について話す		単語を予習し、音声聞きながら発音練習をする。		1
	13	第11課(2) トレーニング・リスニング		文法を復習し、音声聞きながら会話の読む練習を行う。		1
	14	映画鑑賞		日常によく使用するあいさつ言葉を復習する。		1
15	総復習		これまでの文法の知識点や文型を復習する。		1	
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	態度・興味・意欲	技能・表現	評価割合
	筆記試験	○	○			40%
	レポート					
	課題	○	○			20%
	実技					
	受講状況・態度			○		20%
	その他(スピーチなど)	○			○	20%
フィードバックの方法	・ 1課修了後、小テストがあります。次の授業の時にテストについてフィードバックします。 ・ 授業中、ミニスピーチまたはペアによるロールプレーの発話活動があります。その際、すぐに発音の誤りを訂正し、フィードバックを行います。					
教科書	『使って学ぶ中国語コミュニケーション』寺西光輝 著、2,300円＋税、朝日出版社					
参考書	なし					
アクティブ・ラーニング	なし					
ICT活用	なし					
メッセージ・備考	予習・復習するとき、音声を活用して、聴く、読む練習を繰り返して行ってください。授業中には大きな声で発音練習してください。					
関連科目	中国語1					